



MESSAGE NOTES

なぜ信頼すべきなの？

箴言 3:5-6

ロイド フラハティ

1. 神の知恵に頼る

箴言 3 章 5～6 節

心を尽くして主に拠り頼め。自分の悟りに頼るな。

あなたの行く道すべてにおいて、主を知れ。主があなたの進む道をまっすぐにされる。

箴言のこの箇所は、私たちが自分の理解力ではなく、神様を信頼し、神様の知恵に頼ることを教えています。私達自身の理解には限界があります。私たちが神様を信頼しないと、神様の知恵を見逃してしまうことになります。

神様の知恵に頼り頼むということは、神様に信頼を置くということです。

2. 神の臨在の中の平安

詩篇 46 篇 10 節

「やめよ。知れ。わたしこそ神。わたしは国々の間であがめられ地の上であがめられる。」

どんな状況でも神様に信頼するとき、私たちは神様の臨在の中で平安を得ることができるのです。

3. 希望と励まし

イザヤ書 41 章 10 節

恐れるな。わたしはあなたとともにいる。たじろぐな。わたしがあなたの神だから。わたしはあなたを強くし、あなたを助け、わたしの義の右の手で、あなたを守る。

この聖句は、神様が私たちと共にいて、どんな困難な状況でも助けてくださることを思い起こさせてくれます。

適用

今年は、困難なこともあれば、また新たな素晴らしいチャンスも経験できる年かもしれません。

いずれにせよ、神様に信頼を置き、神様を信じていきましょう。

天の父との深い信頼関係を築いていきましょう。